

平成29年1月27日

二宮町教育委員会会議録

(定例会)・臨時会)

二宮町教育委員会

- 1 開会時間 9時 30分
- 2 閉会時間 12時 15分
- 3 教育長名 府川陽一
- 4 署名委員
- 5 出席委員

議席番号	出欠席	氏名
1	○	山内みどり
2	○	吉田美佳子
3	○	原道子
4	○	岡野敏彦
5	○	府川陽一

- 6 出席者氏名
 教育部長 鐘ヶ江学
 教育総務課長 黒石徳子
 教育総務課指導班長 下澤純二
 教育総務課指導班指導主事 新井久美
 教育総務課指導班指導主事 永井貴幸
 教育総務課教育総務班長 岩崎稔史
 教育総務課教育総務班主査 寺口瑞紀
- 7 傍聴者 3名
- 8 調製者 教育総務課教育総務班主査 寺口瑞紀

平成28年度1月教育委員会定例会会議録

日時：平成29年1月27日（金）

9時30分より

場所：二宮町町民センター2A クラブ室

— 開会宣言 —

（教育長）平成28年度1月定例教育委員会議を開催します。

— 署名委員の指名 —

岡野委員を指名する。

— 教育長事務報告 —

（教育長）1月事務報告を資料に基づいて行う。

（教育部長）1月政策会議報告を資料に基づいて行う。

（各課長）各課の事業報告・事業予定について資料に基づいて説明する。

○（原委員）横浜市での福島県から転校してきた児童・生徒のいじめの問題についてですが、二宮町では大丈夫でしょうか。二宮の小学校でも福島県からの児童を受け入れていたことがありました。その時に、保護者の方が福島ナンバーの車を親戚の家にとめておくのが不安だとおっしゃっていました。しかし、実際にはその児童は元気に学校に通い、風評被害からそのご家庭に対する差別などということにはなかったように思います。二宮町としては、福島の人のことを忘れないで、思いやりを持っていけるような町でありたいと思いますし、はぐくみ塾などでとりあげるのもいいかもしれないと思います。

次に人事の関係で、二宮町から他の市町村で働きたいという希望は多くて、二宮町で働きたいという希望は少ないということですが、新採用研修などを充実させていくしかないと思います。新採用の先生を育てても他市町村に行ってしまうので意味がないなどと考えずに、新採用でも臨時的任用であっても、一生懸命育てていくことが重要ではないかと思います。

○（教育長）福島県から来た小学校の児童は、いつまで二宮にいたのでしょうか。

○（教育総務課長）平成24年度までいました。その後転出され、現在はいらっしゃいません。

○（山内委員）いじめについては、ある市町村で教師によるものがあつたというニュースもありましたし、福島県の問題だけではなく、外国人に対する差別の問題など様々な事情をかかえている方がいらっしゃいますので、広い意味でのいじめについて、色々考えていかなければいけないと思います。先生については、一度二宮から出て行かれて戻ってくる方などは、いらっしゃらないのでしょうか。

- （教育総務課長）最近では、中学校の先生で二宮に戻ってきた方がいらっしゃいました。また、新採用の先生で、町内小中学校の卒業生の方もいらっしゃいます。町外の小中学校出身の方で、3年経つと二宮から異動された方は何人かいらっしゃいました。
- （原委員）任用制度として、何年か経つと外に出なければいけないということはあるのでしょうか。
- （教育長）今はそのような制度はなくなりました。交流で3年間他の市町村に行っていただくことはあります。
- （教育総務課長）採用から3年経つと異動希望を出すことができます。
- （原委員）先生方が異動希望を出すのは、二宮だと同世代の先生が少ないことが一番の問題ではないかと思います。
- （山内委員）働きやすい二宮の良さというのをアピールしていかなければいけないと思います。
- （原委員）子育てしながら働きやすい町というのをアピールしていけたらいいと思います。
- （教育長）コミュニティ・スクール等の取り組みや小中一貫教育などを通して環境づくりに努め、新採用研修などで仕事の楽しさをアピールしていけたらと思います。
- （岡野委員）学力・学習状況調査についてですが、科目によってはある程度繰り返し学習することが必要ではないかと思えますし、短い時間で集中して学習し、それを毎日繰り返すことが大事なのではないのでしょうか。学校のカリキュラムの中で、そのような授業をモジュール化するような取り組みなどはあるのでしょうか。
- （教育長）学力調査の分析で、先生が必ず授業の終わりに振り返りやまとめをするなどの工夫をしているクラスは、学力調査の結果が良かったという傾向があるようです。今後英語科の小学校への導入によって、カリキュラムをモジュール化するような動きが出て来るのかなと思いますが、現在モジュール的な取り組みがありますでしょうか。
- （指導班指導主事）朝の時間にドリルなどを使う学習を、曜日を決めたりなどして繰り返し学習をしている学校はあります。
- （原委員）学力調査の結果がいい秋田県や福井県などは、家庭学習の時間が長いということで、自学の時間がすごく大事だと思います。はぐくみ塾の中で、中学校の先生から家庭学習について取り上げてほしいという意見もありますので、来年度取り上げてほしいかなと思っています。アクティブラーニングなどは、言葉だけが先行しているように思います。
- （吉田委員）二宮町では、学校の規模が3校で全然違いますが、学校全体で授業や家庭学習について、取り組んでいただきたいと思います。先生によってとらえ方が違って、朝の時間の使い方が違ったりするので、管理職の先生がきちんと授業などを把握していただいて、朝の時間の使い方についても学校全体で同じ姿勢で取り組んでいただきたいと思います。コミュニティ・スクールなど新しい取り組みも大切ですが、家庭学習やいじめなどの現状の問題についてもきちんと把握していただきたいと思います。いじめの現状については、現在どれぐらいの件数があるのでしょうか。
- （指導班指導主事）いじめの認知件数は増えているのが現状です。以前に比べて少しでも嫌な思いをしたものはいじめの可能性があると細かいことまで報告があがるようになってきてい

るので、認知件数だけ見ると増えています。内容を見ると、注意する言葉がきつくて嫌な思いをしたなどというものも含まれています。子どもたち自身の取り組みで、生徒会や児童会でいじめをなくそうという取り組みを行っている学校もありますので、とてもいい傾向だと思います。

○（吉田委員）アンケートはどういう形で行っているのでしょうか。

○（指導班指導主事）年3回行う調査となります。

○（指導班指導主事）神奈川県から正式に依頼が来ている調査で、学校から報告を受けるものです。子どもたちから嫌な思いをしていないかどうかについて聞く調査については、また別の調査があります。

○（吉田委員）共通のフォーマットがあるということでしょうか。

○（指導班指導主事）そういうことです。

○（岡野委員）学校として外に情報発信する力が弱いと思います。例えば二宮町に住んでいない方から見て、二宮町の良さがわからないと思います。学校だよりは、在校生のご家庭には紙ベースで配布していますが、その方法では保護者の家庭にしか届きません。学校を卒業した方や町外の方にも情報発信できるよう学校でもホームページを持つべきだと思います。全国の小学校でホームページを作っているのは90%を超えていますので、二宮でもぜひ作っていただき情報発信力を高めていただきたいと思います。

○（教育総務課長）作成した後に更新をしていかなければ意味がありませんので、学校の負担になってしまいます。今は教育委員会で学校の部分のホームページを作成している状況です。

○（吉田委員）小田原市では学校の広報誌を市役所の掲示板に貼ったりしているようですので、例えば学校で作っている広報誌などを掲示板に貼ってみたりするのもいかなかなと思います。

○（原委員）学校にはパソコンに詳しい先生もいらっしゃいますので、学校でホームページを作成することは可能なのではないかと思います。

○（教育長）先生方の負担なく、個人情報の流出がないような方法を検討をしていきたいと思いません。

— 付議事項 —

（1）議案第15号 二宮町立小中学校に小中一貫教育校の導入を検討するにあたっての基本的な考え方（案）

○（原委員）タイムスケジュールが加わったのは、とてもわかりやすいと思います。先程教育長のお話にも、小中一貫教育推進モデル校としての授業を平成29年度から行うということがありました。そして、小中一貫教育設置準備の中の「小中一貫教育（乗り入れ授業等）の施行、実施」が平成31年度からとなっていて、平成31年が点線になっていますが、どういうことでしょうか。

○（教育総務課長）モデル校事業の中でカリキュラムを作りながら検討を行い、事業を行っていきます。先行実施ということで平成31年度は乗り入れ授業を行いたいとは考えています。平成29年度と平成30年度は、モデル校事業を県から委託を受けて行うものになります。

- （原委員）学校で理解していただくためにも、研修の日程等も含めて早めにスケジュールを示していただけたらと思います。
- （教育長）小中一貫教育校の実施計画を平成31年までに出したいと考えています。そして、平成31年度から、町民の方のご意見を伺いたいと考えています。その後平成32年度から再配置の準備を行うこととなります。
- （原委員）保護者や町民の方へ意見を聞くにあたってデータが必要になると思いますが、それが平成29年度から始まるモデル校事業の研究成果やメリット・デメリットを示すことになると思いますので、早めに具体的な動きをしていただければと思います。
- （吉田委員）こういう取り組みを定住促進につなげていきたいということだと思いますので、情報発信を積極的に行わないといけないと思います。間違った情報が広まってしまうと困りますので、正確な情報をどのように保護者や、今後保護者になっていく保育園や幼稚園の保護者などに伝えていただくか工夫をしていただきたいと思います。
- （教育長）広報にのみやに今回の会議の資料のような内容を載せられますか。
- （教育総務課長）もう少し分かりやすく簡略化したものを載せることを、検討したいと思います。
- （教育長）再配置についても、0歳から6歳までの子どもの地区ごとの細かいデータを作成しているところです。そのデータを参考に勉強会を開催したいと思います。
- （岡野委員）小中一貫教育についてのメリットは、小中の接続部分を滑らかにできること、6歳から15歳まで最大9歳差に広がった年齢層を生かすことができるということ、コンパクトに分かりやすく伝えていく必要があると思います。そこで注意したいことは、小学校6年生の気持ちです。最高学年としての自信や自負を損なわないように配慮していただきたいと思います。
- （教育長）シンプルな小中一貫教育のメリットを、町民目線で分かりやすく示していく必要があると思います。
- （岡野委員）英語だけでなく例えばクラブ活動など、小学生のうちに中学生レベルの部活動を目指す機会ができることなど、小中が繋がったことによるメリットを生かすことが必要だと思います。

— 報告・協議事項 —

- (1) 平成29年度二宮町教育委員会基本方針（素案）について
（教育部長・教育総務課長）平成29年度二宮町教育委員会基本方針（素案）について資料に基づいて説明。
- （山内委員）重点施策の「4 児童生徒の学習環境の整備」、「5 地域文化の向上」が増えていますが、どのような理由でしょうか。
- （教育総務課長）4の教育環境については、色々な方から指摘をいただいている、教育総務課でも空調等の整備をしたいと考えて重点施策に入れさせていただきました。
- （教育部長）これまでは放課後子ども教室のために社会全体の子育てとしていましたが、地域文

化の向上とさせていただき、二宮の文化に触れることが出来るような活動として地域文化とさせていただきます。

- （原委員）生涯スポーツのところで、生涯学習と健康の分野でのスポーツとの連携は図られているのでしょうか。例えば、町民体育館や温水プールのジムの器械などを活用して、お年寄りの足腰の強化を図ったりなどに利用し、医療費の削減につなげていけたりするのではないのでしょうか。
- （教育部長）健康づくり課で温水プールのトレーニング室などを使った健康体操などの取り組みは、定期的に行っています。

（2）コミュニティ・スクール導入促進事業の状況報告について

（指導班指導主事）コミュニティ・スクール導入促進事業の状況報告について説明。

（3）その他

（指導班指導主事）体力状況調査について資料に基づいて説明。

- （吉田委員）数年前に結果が悪かったのですが、その後改善しているので良かったと思います。ラジオ体操をするなど、ちょっとした取り組みでも変わっていくと思いますので、元気な子どもたちでいる為に、色々と工夫して取り組みを行っていただきたいと思います。

（教育部長）子ども会まつりについて資料に基づいて説明。

（教育長）学習指導要領について資料に基づいて説明。

— 次回教育委員会予定 —

（教育総務班長）平成 29 年度教育委員会議の日程及び次回教育委員会議の日程、出席を要する主な行事について資料に基づいて説明。

— 閉会宣言 —

（教育長）平成 28 年度 1 月定例教育委員会議を終了いたします。

12 時 15 分 終了